

2022(令和4)年度 部局マニフェスト ～私たちの組織使命と目標～

部局名	財務部
役 職	部長
氏 名	東瀬 嘉章
連絡先	0595-22-9610(内線2820)



業績目標の達成状況
5. 先進的な取り組みを行い、成果があった
4. 達成水準を上回る成果があった
3. 業績目標を達成した
2. 取り組んだが、業績目標を達成しなかった
1. 業績目標に取り組まなかった

組織使命	組織使命達成に向けての目標	目標の達成水準	目標を達成するための手段
◎部局目標1	関連の施策・基本事業No. 7-2・①	〈現在の状態〉 市債残高 ・令和3年度末約828億円(令和3年度決裁見込額) ↓ 〈達成目標〉 年間約22億円縮減 ※目標が達成した状態 見込み額約806億円 市債残高の縮減で、財政健全化の判断基準である将来負担比率と実質公債費比率が改善し、将来の市民負担の軽減に繋がる。	・経常的な経費の抑制を図るとともに、投資的経費の厳正な事業選択などを進めることで、プライマリーバランスを堅持し、市債残高の縮減に取り組み、持続可能な財政運営を確立する。
持続可能な財政運営	公債費の縮減		
◎部局目標2	関連の施策・基本事業No. 7-2・②	〈現在の状態〉 公共施設最適化計画縮減目標面積16.6万㎡のうち、令和3年度末で10.1万㎡縮減している。 ↓ 〈達成目標〉 ・毎年度、均等に面積を縮減していくとすれば、年間約7,000㎡を縮減する必要があるが、今年度については、今年度の個別計画に基づくとともに、温泉施設の利活用方法の検討により9,336㎡のハコモノ保有面積を縮減する。 ※目標が達成した状態 ハコモノ公共施設面積9,336㎡が縮減されている。	・2020(令和2)年度からの公共施設最適化計画第2期実行計画に基づき、保有面積の縮減に取り組む。 ・温泉施設は、あらゆる可能性を模索しながら、利活用するための公募案を作成する。
公有財産の有効活用	公共施設等総合管理計画の推進によるハコモノ公共施設保有面積の縮減		



達成状況 (自己評価)	理由
3	令和3年度末(決算)826億円から3月補正時点で794億円となり、32億円縮減の見込となった。将来負担比率及び実質公債費比率も改善した。
4	大山田・島ヶ原両温泉施設については、プロポーザル方式により売却を行い、年度内で売却先が決定し、青山高尾体育館等を普通財産化したことにより、ハコモノ公共施設面積が約16,000㎡縮減出来た。

組織使命	組織使命達成に向けての目標	目標の達成水準	目標を達成するための手段	達成状況 (自己評価)	理由
◎部局目標3	関連の施策・基本事業No. 7-2・③				
税収確保と債権管理	未納債権の減少	〈現在の状態〉 令和3年度1億5千万円減少予定 ↓ 〈達成目標〉 ・令和4年度では、1億円以上減少させる。 ※目標が達成した状態 各種市債権の適正な管理が進み、滞納繰越債権が減少している。	・各種市債権の状況把握し、相談や移管件数を増やす。 ・各種市債権の現年度分を繰り越さないための、職員のスキルアップ研修や処理体制の構築を図る。	3	1億円の未納債権を減少させた。 (R5.3.27現在) 各種債権の移管は333件に達した。 新規分納誓約を50件を取り付けた。 各種私債権担当者に対する研修を2回実施した。